

〔可認物便郵題三第十一馬六〕

精神日本の再建

々の進むべき根本方針を
今上陛下が御即位の朝見式
の御勅諭に「模擬ヲ戒メ創
造ヲ奨メ」と仰出されたの
は、我々九千萬國民に、我
も今日まで我々は日本人だ
と我々の造つて居る國家は日
本の國家だ、今後以後は模
擬を戒めて創造に努め、日
本獨特の新文化を建設しな
ければならぬと仰出された
のであるが、是は兎も角も
我々九千萬國民に對して建
國の大精神に還れ、即ち我
々に還つて物質文化の弊害を
一掃して、精神文化の尊き
力に依つて昭和の新日本を
創建しようと仰出されたも
のと私は拜察するものであ

らみてゆきませう
これは誰れのだ
あれは誰れのだ
皆さん静かに見てゆきま
せうよ
こゝにちつちやいのがど
こまでもついてゐる
小さいけれどなんて正
せうよ
いんだらう
こゝにもあつた、ねぢけ
たあしあとが
これをみてごらんヨツボ
ド 大きなあしの人よ
一体誰だらう。
だが階分亂暴ぢやないの
このあしどりは、いくつ
も小さいあしあとをふみ
にぢつてゐるわ
まがつてゐるは
もつとさまで行つてみま

懸賞歌募集
水、雪、
首以内投稿(官製ハガキ便)
十二月二十五日締
一月一日磐城新聞
磐城新聞
秀逸(本紙一ヶ月購読券二名)
秀逸(本紙一ヶ月購読券二名)
三等(本紙一ヶ月購読券二名)

一、題 水、雪、
新 年懸賞可同 美集
二、締切 十二月二十五日頃
三、發表 一月一日磐城新聞紙上
四、選者 小山田 滋
五、賞品 一等(置時計)一名 二等(本紙三
ヶ月購讀券)二名 三等(本社メダル)
三名 秀逸本紙一ヶ月購讀券)十名

でもどこまでも他の人
同じに歩いて行つてゐ
わ
まつば枝のあとに涙を
してゐるわ
あゝ早く來てごらんな
い
これはどうしたんでせ
血のあしあと、血のあ
つこよ
赤い血でみちをそめな
ら正しく歩いた人
正しいあしどりだこと。
このあしあとのかなたは
平線のはてをごらんな
い。
あのあかるさを
そして静かにしてごら
なさい
には美しい樂奏がきこ
て来ますよ
さア私たちは
地にぬかづいてお祈を
朝勤行する
鉢の音に
お堂のみ燈
ゆれました
たうといお佛
わなされて
拜むと泪
おちてくる
死んだ娘やよ
お眠りよ
金のみ燈
ゆれまする。

善光寺（童謡詩）
島田忠夫
謠民——五浦
山口正夫

小さいあしつこが、あ
ことあること、みんな
み合つて居るわね
亂雑で分らないわね
あらびくにもまつすべ
があるわ

かれてくるよな
雄波と雌波
船は見えたり
かくれたり
波のあひだを
ぬけてゆく。
△新後撰和歌集
△嘉永三
△新律経
を頒つ(明治三)
—

（續）
「お嬢、お蝶の亂髪は倒
に吹き飛ばされて、墨
如く狂ひもつれた。そ
から輝く眼は決死の炎
やして銀冶のやう
ズドン！」
轟く銃音、煙は漂と
坊の半身を包んだ、飛
彈？お蝶は確かに乳房
を射抜かれた筈である
が異状がない、絶望

上から豹の躍るが如く、此の隙の燃えを、『あい！』
ぎよとする間もなき風迅雷、閃く刀刃に、左の關節から斬放されて、辰光の腕は続もろとも、大地に落ちた。

左の がや	、二 リと △二、〇〇△ （明治の文學：餘 文學「漱石と研風」 教授本間久雄	△正午 時報 △後〇、〇五B 和洋 △外記猿、秋の色 △〇、〇〇A ニュー 知事頃
△四、〇〇 ニュース △四、〇〇 そくはん	△三、四〇 氣象	

△六、二五 英語講 綱	△六、五五 カレン カス	△七、〇〇 ニュー マ	△七、三〇A 講演	△八、〇〇A 放送 (江戸生艶氣繩燈 マチニ)
學講座	裕派の	早大	裕派の	早大
告	告	告	告	告

増田　トビ　バー　一般軍氣象博士　臺劇　日比

器も需要季に入り俄然暴騰致しました

絶好無二の御買時
在庫品見越買附品豊富
平素ノ御引立ヲ衷心ヨリ感謝シ
大泰仕繪神ヲ御底セシムベク

在庫品全割
従前値段販賣ノ一大奉仕
正月の御用意お屠蘇具が
種々入荷致しました。
専門漆器平町に只一軒の……
ドコヨリモヨシシナチ……
ドコヨリモヤスクル。メリモノミセ
各國産漆器専門卸小賣
**其榮漆器店**
(平町2町目36元郵便局裏通)
員募集十二三才…小 店 員 優遇す
員募集三十才迄…外 交 員 優遇す

月曜論壇

宵の平町を疾走中

阿鼻叫喚裡に七名が火傷

車体の一部ご日活映畫十二卷焼失

明村長を以て議長とする
原則を脱し、他の事情ある
町村に於ては、その例外
規定に基き、町會の選舉に
よる議長及其の代理人を置く事になつた事は、その可否は姑く論外として從來町村の原則的議長を以てし町村運用上自立した支障を感知しなかつた町民に對し、手高橋卯之助（元同乗の乗込みのフカルム間から火を觀測されてゐる）合五二四號が昨十八日午後發しがソリニ引火して車

湯本町天王崎鈴木稻實自動車突如バッテリーと助手れていたが明春は一學級と草部古川三千彦（同運轉臺に置いた前記安部持教員二名を増加するものと手高橋卯之助（元同乗の乗込みのフカルム間から火を觀測されてゐる）合五二四號が昨十八日午後發しがソリニ引火して車

内は一面火の海と化し逸早く飛出した運轉手と助手の

内郷村宮澤常蔵社主（元同村鬼ヶ澤平太郎三車内全部を焼失し二十分後調に完成して宏壯なる住宅

猪野久子（元同長女ヒロ子（元同村竹之内寛妻島

五時十五分頃内郷村宮澤常蔵社主（元同村鬼ヶ澤平太郎三車内全部を焼失し二十分後調に完成して宏壯なる住宅

猪野久子（元同長女ヒロ子（元同村竹之内寛妻島

狂躁曲を奏づる年頭の藝術

うら若いテレホン姫の

も生活線職に立働く職業婦

人の小に電話交換娘がある

出せば「ハ、ハ何番、何番際と誰もコバクトを取り

印象」但し今は前記の如

ダーダーが日一日と剥がされて

離れては林学者にて

毎に各商人の神経は益々

尖銳化し、その混沌と紛

亂の錯綜せる裏に雄々しく

「アーリン！デヂヂヂヂヂ！」

火の聲の音が急ピッチ

も一時間毎に十五分間の安

息が與へられる……が其のないらしく急性膜炎で頭

の聲であるが之が死因では

年増の監督さんが其ひや

張解剖の結果咽喉をしめた

形跡はあるが之が死因では

が明春仙臺では卒

了テレホンガールである

（翁先生）

の虫を周旋すると稱して

甘八園を旅費として借りた

行方を晦したので水戸

署に告訴された

留吉（四月）は去月十五日茨城

県東茨城郡川根村奥野谷料

店中野かつ（三）方を訪れ

て今十八日平町藤沼醫師出

告によ同日午後六時小林

地主山崎家が大金を投じ

任會開催に就て協議した

宇高野部落の區民大會は昨

十八日午後一時から同字高

萩原太氏方で開き匡救事業

開催、來年度収支、教務主

任會開催に就て協議した

箕輪區民大會

箕輪村大

染めたうら若い女性達が町内から雪崩れ込む「聲」と「聲」の交換に今忙殺されてゐる。喧しい信号の音が急ピッチも一時間毎に十五分間の安息が與へられる……が其のないらしく急性膜炎で頭の聲であるが之が死因では年増の監督さんが其ひや張解剖の結果咽喉をしめた形跡はあるが之が死因ではが明春仙臺では卒了テレホンガールである（翁先生）の虫を周旋すると稱して甘八園を旅費として借りた行方を晦したので水戸署に告訴された留吉（四月）は去月十五日茨城県東茨城郡川根村奥野谷料店中野かつ（三）方を訪れて今十八日平町藤沼醫師出告によ同日午後六時小林地主山崎家が大金を投じ任會開催に就て協議した宇高野部落の區民大會は昨十八日午後一時から同字高萩原太氏方で開き匡救事業開催、來年度収支、教務主任會開催に就て協議した箕輪區民大會

箕輪村大

け出で禮金を贈られた

日午後一時葬儀直前に於て

死因に疑かる旨浪江署の報

告によ同日午後六時小林

桂庵告訴する勿來町生

理店中野かつ（三）方を訪れ

當時市櫻町周旋業今井

留吉（四月）は去月十五日茨城

県東茨城郡川根村奥野谷料

店中野かつ（三）方を訪れ

當時市櫻町周旋業今井

留吉（四月）は去月十五日茨城